

河川整備に対する意見のとりまとめ方について

1. 『委員会からの意見』のとりまとめ方について

円山川流域委員会では円山川の現状等を把握し、円山川のあるべき姿について意見交換を行い、その成果を第 11 回円山川流域委員会(H16.10.13 開催)において「委員の意見のまとめ(集約フロー)」にとりまとめました。

その直後の平成 16 年 10 月 20 日に台風 23 号により円山川では甚大な災害が発生し、国土交通省においては円山川緊急治水対策を作成し、現在、事業が行われています。このため、円山川流域委員会では円山川緊急治水対策の理解を行うための「円山川緊急治水対策事業検討WG」を設置して検討を行い、その検討成果を「円山川緊急治水について(報告)」としてとりまとめました。

「委員会からの意見」は、これまでの委員会活動の成果である「委員の意見のまとめ(集約フロー)」、「円山川緊急治水について(報告)」をもとにとりまとめを行います。

「委員会からの意見」の具体的な整理方法は次ページ以降に示します。

ただし、「委員の意見のまとめ(集約フロー)」は台風 23 号による災害の発生前に作成されたものであり、災害後に行われた意見交換の内容が反映されていないため、今回、災害後の意見について整理し「水害後の委員の意見のまとめ(集約フロー)」を作成しました。

「水害後の委員の意見のまとめ(集約フロー)」の作成作業の内容及び結果は資料 3-2 に示します。

2. 『委員会からの意見』の構成について

『委員会からの意見』は、これまでの活動成果の取りまとめを行うことによって、円山川のあるべき姿とはどのようなものかを流域委員会として提示するものです。このため、『委員会からの意見』の記載項目としては以下を考えます。

1) 円山川流域委員会の開催経緯

現地視察など現状把握、情報の共有化のために行った活動内容の整理を中心に流域委員会の開催状況を整理する。

2) 円山川のあるべき姿

「委員意見のまとめ(集約フロー図)」をもとに円山川のあるべき姿の総括を以下の項目について示す。

(1) 円山川の現状と課題

集約フロー図での「地形的概要」や「テーマ1」、「テーマ2」の意見において円山川の現状や課題に関する意見をもとにとりまとめる。

(2) 円山川のあるべき姿

住民が安全に、安心して暮らせる円山川

テーマ1(住民が安全に、安心して暮らせる円山川)の内容を主として、治水面から見た円山川のあるべき姿をとりまとめる。

平常時の円山川との付き合い方

テーマ2(平常時の円山川との付き合い方)の内容を主として、自然環境や利用など平常時の円山川との付き合い方から見たあるべき姿をとりまとめる。

3) 河川の整備に関する意見のまとめ

河川の整備を実施するうえでの意見をとりまとめる。

(1) 住民が安全に、安心して暮らせる円山川

治水面から必要となる具体的な河川の整備に対する考え方等について意見を以下の意見集団毎にとりまとめる。

直轄管理区間の治水について

流域全体としての治水機能について

(2) 平常時の円山川との付き合い方

平常時の円山川との付き合い方の面から必要となる具体的な河川の整備に対する考え方等について意見を以下の意見集団毎にとりまとめる。

円山川の利水について

人の営みと利用について
円山川の景観について
円山川の自然環境について

- 4) 河川整備計画策定時の住民意見反映のあり方
住民意見の反映のあり方について、委員会での意見やヒアリング結果を
もとに流域委員会の意見として取りまとめる。

3. 『委員会からの意見』の作成方法について

1) 集約フロー図での意見の『意見』への反映

水害前及び水害後に作成した集約フロー図での意見を整理し、それらの意見が『委員会からの意見』にどのように反映されているのかを分かるようにします。参考例として表 1 の対応表を作成しました。

表-1 (1) 委員の意見のまとめ(水害前)

テーマ	意見集団	番号	意見	「委員会からの意見」へ記載する項目との関係								意見の分類
				2) 円山川のあるべき姿		3) 河川の整備に関する意見のまとめ						
				(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	
住民が安全に、安心して暮らせる円山川	流域全体としての治水機能	109	人々が安全に安心して暮らせる円山川									あるべき姿に関する意見
		16	過疎と労働力不足で山林の手入れがままならない									現状、課題
		39	山地の状況と上流からの土砂供給の変化									現状、課題
		52	上流域の変化に対する下流域への影響(河川改修、都市化など)									現状、課題
		57	上流域の棚田、山田を利用しなくなった									現状、課題
		58	林床の草本類が育たない状況、保水力不足(間伐不足・鹿の食害)									現状、課題
		59	木材価格の下落による山林の管理不足									現状、課題
		77	圃場整備による水田からの水の流出形態の変化の影響									現状、課題
		101	流域全体の保水力を高めるという治水方法の可能性									整備の方法に関する意見
		103	流域全体としての保水機能									整備の方法に関する意見
		111	山から海に水をゆっくり流す工夫									整備の方法に関する意見
		14	兵庫県が実施している整備に関する計画									整備の方法に関する意見
		41	上流域と下流域の連携									あるべき姿に関する意見
		68	遊水地整備等の際の地域住民の協力体制									あるべき姿に関する意見
	直轄管理区間の治水	67	上中流部の改修との調整、整合性									あるべき姿に関する意見
		3	直轄上流部、下流部の無堤地区の治水対策									整備の方法に関する意見
		5	ある程度までは水が溢れることを許容した治水									あるべき姿に関する意見
		7	流域住民の改修要望はどのようなものか									あるべき姿に関する意見
		13	現在の整備のもととなる計画(工事実施基本計画)									あるべき姿に関する意見
		27	中流部の未整備堤防区間(弱小堤防)									現状、課題及び整備に関する意見
		28	洪水時に危険な状態となる橋梁(KTR、鶴岡橋、鳥居橋、奈佐小橋)									現状、課題及び整備に関する意見
		31	自然環境に配慮した治水事業(ひのそ島掘削、野上の湿地)									現状、課題及び整備に関する意見
		32	地盤沈下対策と堤防強化									現状、課題及び整備に関する意見
		43	災害が起きたら被害をいかに少なくするかという発想									あるべき姿に関する意見
		48	円山川の堤防整備率はかなり低い									現状、課題及び整備に関する意見
		49	上流部の低い流下能力(無堤)									現状、課題及び整備に関する意見
		50	下流部の低い流下能力(戸島、ひのそ島、無堤)									現状、課題及び整備に関する意見
		53	遊水地に対する考え方									あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		54	災害対策マニュアルなどのソフト的な対応									あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		55	地域の人達がどのように水害に対応してきたのか									現状、課題
		66	河川計画及び基準と改修の経緯									現状、課題
		69	現況河道での実績洪水の再現									現状、課題
		74	過去の円山川の改修計画の評価									あるべき姿に関する意見
76		経済的な視点からみた整備計画のあり方									あるべき姿に関する意見	
83	安全情報など流域住民がもつ河川情報の認知及び周知									あるべき姿及び整備の方法に関する意見		
84	古くから有効に使われてきた治水手法の整理									あるべき姿に関する意見		
90	洪水時、どこが一番被害を受けるのか									現状、課題		
99	整備の妥協点の模索とそれに見合った防災対策									あるべき姿に関する意見		
102	日常生活の中でどこまで洪水と妥協できるか、かわす生活ができるか									あるべき姿に関する意見		
120	水害を100%なくすのではなく、被害を小さくする方法									あるべき姿に関する意見		

「委員会からの意見」の構成・目次(案)
 1) 円山川流域委員会の開催経緯
 2) 円山川のあるべき姿
 (1) 円山川の現状と課題
 (2) 円山川のあるべき姿
 住民が安全に、安心して暮らせる円山川
 平常時の円山川との付き合い方
 3) 河川の整備に関する意見のまとめ
 (1) 住民が安全に、安心して暮らせる円山川
 直轄管理区間の治水について
 流域全体としての治水機能について
 (2) 平常時の円山川との付き合い方
 円山川の利水について
 人の営みと利用について
 円山川の景観について
 円山川の自然環境について

太字は左表の欄で示した項目

表-1 (2) 委員の意見のまとめ(水害前)

テーマ	意見集団	番号	意見	「委員会からの意見」へ記載する項目との関係								意見の分類
				2) 円山川のあるべき姿		3) 河川の整備に関する意見のまとめ						
				(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	
平常時の円山川とのつきあい方	円山川の	117	平常時の人と川との接し方									あるべき姿に関する意見
		19	利水上重要施設である蓼川井堰									現状、課題
		25	下流の河床勾配は緩く、湧水時には取水困難な状況									現状、課題及びあるべき姿に関する意見
		45	流域の平野部は、豊岡盆地を中心とした穀倉地帯									現状、課題及びあるべき姿に関する意見
		85	古くから有効に使われてきた利水手法の整理									整備の方法に関する意見
	人の営みと利用	24	道路の整備や架橋による舟運の衰退									現状、課題
		33	穏やかな水面を利用したボート、カヌーなどの利用									現状、課題及びあるべき姿に関する意見
		35	子供が遊べる環境が川と道路で奪われていること									現状、課題及びあるべき姿に関する意見
		40	地域社会の基盤として、川がもたらしている豊かさ									あるべき姿に関する意見
		47	市民の憩いの場としての河川(旧円山川)									現状、課題及びあるべき姿に関する意見
		56	地域住民が住みやすい整備(豊岡～城崎間の道路を例として)									あるべき姿に関する意見
		61	住民に川をどう提供し、生活、レジャーに使ってもらうか									現状、課題
		70	他の河川に比べて採草が多い(但馬の特徴)									現状、課題
		71	町と川のあり方(舟運からJRへの交通の変化から)									現状、課題
		72	ゴミの問題(美しい但馬、美しい円山川)									現状、課題
		80	昔は、地域の人達の協力によって、子供たちが水に親しめていた									現状、課題
		94	社会的、心理的に川が遠くなっている									現状、課題
		95	地域になじんだ計画									あるべき姿に関する意見
		96	人と川の付き合い方の情報の整理(地域性、歴史性から)									あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		98	どのようにすれば、住民が親しめる川になるのか									あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		105	子供や大人が自然に触れる、遊ぶことのできる河川									あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		106	生活の場としての円山川									あるべき姿に関する意見
		107	川へのアクセスポイントの整備									整備の方法に関する意見
		112	流域の人々の暮らしからの声									あるべき姿に関する意見
		114	人と川の日常的な関わり									あるべき姿に関する意見
	116	ゴミが捨てにくい環境づくり									整備の方法に関する意見	
	118	川遊びができる川づくり									あるべき姿及び整備の方法に関する意見	
	円山川の景観	104	風景としての円山川									あるべき姿に関する意見
		18	上ノ郷の河畔林の景観の保全									あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		20	農林水産業に関連する文化的景観である蓼川井堰									現状、課題及び整備に関する意見
		23	土淵周辺の景観の悪化									現状、課題及び整備に関する意見
		26	旧円山川の景観									あるべき姿に関する意見
36		農林水産業に関連する文化的景観の複合的景観としての円山川									現状、課題及び整備に関する意見	
37		農林水産業に関連する文化的景観である戸島									現状、課題及び整備に関する意見	
42		下流右岸の道路の工事による景観の悪化									現状、課題及び整備に関する意見	
75		四季を通じての円山川の美しさの保存(景観)									あるべき姿及び整備の方法に関する意見	
86		河口域の穏やかで、豊かな流れの景観									あるべき姿及び整備の方法に関する意見	
87		円山川のシンボルとしての下流域の風景、景観									あるべき姿及び整備の方法に関する意見	
92		円山川の持つ素晴らしい景観の整理									整備の方法に関する意見	
113	地域の日常と密接に関連していることが感じられる景観									整備の方法に関する意見		

「委員会からの意見」の構成・目次(案)
1) 円山川流域委員会の開催経緯

2) 円山川のあるべき姿
(1) 円山川の現状と課題
(2) 円山川のあるべき姿
住民が安全に、安心して暮らせる円山川
平常時の円山川との付き合い方

3) 河川の整備に関する意見のまとめ
(1) 住民が安全に、安心して暮らせる円山川
直轄管理区間の治水について
流域全体としての治水機能について
(2) 平常時の円山川との付き合い方
円山川の利水について
人の営みと利用について
円山川の景観について
円山川の自然環境について

太字は左表の欄で示した項目

表-1 (3) 委員の意見のまとめ(水害前)

テーマ	意見集団	番号	意見	「委員会からの意見」へ記載する項目との関係								意見の分類			
				2) 円山川のあるべき姿		3) 河川の整備に関する意見のまとめ									
				(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)				
と平常 つきの あい山 方川	円山川の 自然環境	4	近畿管内の主要河川の中でもかなり良好な水質											現状、課題	
		6	下流域には、非常に豊かな自然が残っている												現状、課題
		8	自然をある程度残した川づくり												あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		9	サケが遡上する自然豊かな円山川、水質の良い円山川												あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		17	近畿地方でも有数の規模を誇る上ノ郷の河畔林												あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		21	魚道はあるが魚が遡上できない蓼川井堰												あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		22	河道の単調化による産卵場、生息場の減少												現状、課題
		29	洪水によって維持されている生き物												現状、課題
		30	汽水域の広いヨシ原とそこに住む生物												あるべき姿に関する意見
		34	自然豊かな護岸整備の推進												整備の方法に関する意見
		38	身近な植物が絶滅に瀕し、希少な植物となっている												現状、課題
		60	生物に配慮した工法(建屋川)												整備の方法に関する意見
		63	帰化植物、帰化動物など外来種対策												あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		64	円山川を特徴づける生き物												あるべき姿に関する意見
		65	魚類の種数、生息数の減少												現状、課題
78	コンクリートや人工物での整備が進んでいる												現状、課題		
79	コウノトリが羽ばたける豊かな環境												あるべき姿及び整備の方法に関する意見		
110	川に生き物があふれる工夫												整備の方法に関する意見		
115	希少生物の生育、生息する円山川												あるべき姿に関する意見		
議論して いくべき 課題	関連する 複数の 課題に 対する 妥協点の 模索	73	流域の人々の円山川への関心度合いの調査(意識調査)											あるべき姿に関する意見	
		11	治水という中にどれだけ環境、文化、営みなどを取り込めるのか												あるべき姿に関する意見
		62	治水重視の従来型計画に対する現在の環境を重視した整備の整合性												あるべき姿に関する意見
		81	豊かな自然環境を維持することと基本的な安全を守ることの調和												あるべき姿に関する意見
		82	安全性が保たれながら環境に配慮した治水のあり方												あるべき姿に関する意見
		88	自然を残しながら安心、安全に暮らせる円山川												あるべき姿に関する意見
		89	人の社会環境を守っていく上においての自然環境を損なわない状況の模索												あるべき姿に関する意見
		91	治水と環境保全の2点をバランス良く考えていく												あるべき姿に関する意見
		93	安全を重視しつつ、その他の円山川に関する良いこととの融合性												あるべき姿に関する意見
		100	整備の妥協点の模索とそれに対する環境保全対策												あるべき姿に関する意見
119	社会情勢指標を含めた治水計画												あるべき姿に関する意見		

「委員会からの意見」の構成・目次(案)

1) 円山川流域委員会の開催経緯

2) 円山川のあるべき姿
 (1) 円山川の現状と課題
 (2) 円山川のあるべき姿
 住民が安全に、安心して暮らせる円山川
 平常時の円山川との付き合い方

3) 河川の整備に関する意見のまとめ
 (1) 住民が安全に、安心して暮らせる円山川
 直轄管理区間の治水について
 流域全体としての治水機能について
 (2) 平常時の円山川との付き合い方
 円山川の利水について
 人の営みと利用について
 円山川の景観について
 円山川の自然環境について

太字は左表の欄で示した項目

表 - 1 (4) 委員の意見のまとめ(水害後)

テーマ	意見集団	番号	意見	「委員会からの意見」へ記載する項目との関係								意見の分類		
				2) 円山川のあるべき姿		3) 河川整備計画に対する意見のまとめ								
				(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)			
住民が安心して暮らせる円山川	流域全体としての治水機能	2	・河道内だけの対策には無理があり円山川の特徴に沿った治水										あるべき姿に関する意見	
		11	・緊急治水対策は山林の保水も確保して実施すべき											あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		26	・土地利用の規制により輪中、二線堤対策に意味を持たせるべきである											整備の方法に関する意見
		49	・平成16年10月洪水で、上流域の被害が下流域にどのような影響を与えたのか											現状、課題
		6	・農水省や環境省、兵庫県等と連携した整備が必要											あるべき姿に関する意見
		22	・あるべき姿は上流指定区間も含めて考えなければいけない											あるべき姿に関する意見
		23	・支川稲葉川の対策検討が必要											整備の方法に関する意見
	直轄管理区間の治水	36	・大保恵堤の思想を遊水地や堤防整備に取り入れる											あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		43	・古くから水害に悩まされてきた記述											現状、課題
		3	・内水の発生に対する対策が必要											あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		10	・蓼川井堰の改築を望む											整備の方法に関する意見
		13	・宅地の嵩上げや水害保険等による対策											整備の方法に関する意見
		16	・河口部掘削後の堆積への対応検討が必要											整備の方法に関する意見
		18	・中ノ郷遊水地の実施は、河道幅を狭め、左岸側に寄せるため、住民感情へ悪影響がある											整備の方法に関する意見
		21	・下流部の対策は下流部治水対策協議会の結果を参考にする											整備の方法に関する意見
		27	・堤防強化対策は基準、方法、区間を明確に											整備の方法に関する意見
		48	・治水対策は床下浸水も認めない方向で考えるべき											あるべき姿及び整備の方法に関する意見
		1	・災害時の情報発信の方法を考える必要がある											整備の方法に関する意見
		8	・ハザードマップの公表											整備の方法に関する意見
		12	・住民からの情報を受け取る体制が必要											整備の方法に関する意見
平常時の円山川との付き合い方	の円利山川	47	・環境を維持するために取水権を認める維持流量の導入										あるべき姿及び整備の方法に関する意見	
		み人用の利営	46	・築堤すると接しにくくなる										あるべき姿及び整備の方法に関する意見
	円山川の景観	17	・中ノ郷地区は景観が大きく変化し、河原がなくなることへの配慮が必要											整備の方法に関する意見
		19	・ゴミが見苦しい。対策を望む											整備の方法に関する意見
	円山川の自然環境	7	・河道内の良好な環境の消失が懸念され対応が必要											整備の方法に関する意見
		25	・河道掘削により植生への影響が考えられる											整備の方法に関する意見
		32	・環境に配慮した工事の学習会を、現場の監督さんに実施											整備の方法に関する意見
		35	・遡上生物、河床生物への影響をクリアできればよい											整備の方法に関する意見
		37	・モニタリングを実施し、当面は問題発生毎に対応を考える											整備の方法に関する意見
	40	・上ノ郷の河畔林の保存を望む											整備の方法に関する意見	

「委員会からの意見」の構成・目次(案)

- 1) 円山川流域委員会の開催経緯
- 2) 円山川のあるべき姿
 - (1) 円山川の現状と課題
 - (2) 円山川のあるべき姿
 - 住民が安全に、安心して暮らせる円山川
 - 平常時の円山川との付き合い方
- 3) 河川の整備に関する意見のまとめ
 - (1) 住民が安全に、安心して暮らせる円山川
 - 直轄管理区間の治水について
 - 流域全体としての治水機能について
 - (2) 平常時の円山川との付き合い方
 - 円山川の利水について
 - 人の営みと利用について
 - 円山川の景観について
 - 円山川の自然環境について

太字は左表の欄で示した項目

表 - 1 (5) 委員の意見のまとめ(水害後)

テーマ	意見集団	番号	意見	「委員会からの意見」へ記載する項目との関係								意見の分類	
				2) 円山川のあるべき姿		3) 河川整備計画に対する意見のまとめ							
				(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)		
川平と常 いの時 方付の き円 合山	円山 川環 境の 自然	41	・魚の棲める川									現状、課題及び整備に関する意見	
		42	・生物環境の現状は、すでに絶滅した種もある表現を望む										現状、課題
		33	・外来生物、特に植物の増加に対するな配慮										整備の方法に関する意見
		34	・自然再生計画検討結果を機能させることを提言すべき										整備の方法に関する意見
		44	・コウノトリが羽ばたける豊かな環境										あるべき姿及び整備の方法に関する意見
議論して いくべき 課題	関連する 複数の 模索の 協点課	14	・緊急治水対策により景観、環境等に侵食している									あるべき姿に関する意見	
		15	・平常時から見た河道の掘削方法									あるべき姿に関する意見	
		24	・竹藪は築堤後はない方がよいが生態系への影響が課題									あるべき姿に関する意見	
		45	・23号台風の被害やコウノトリ(治水と環境)を勘案しながらの検討									あるべき姿に関する意見	

「委員会からの意見」の構成・目次
(案)
1) 円山川流域委員会の開催経緯
2) 円山川のあるべき姿
(1) 円山川の現状と課題
(2) 円山川のあるべき姿
住民が安全に、安心して暮らせる
円山川
平常時の円山川との付き合い方
3) 河川の整備に関する意見のまとめ
(1) 住民が安全に、安心して暮らせる
円山川
直轄管理区間の治水について
流域全体としての治水機能について
(2) 平常時の円山川との付き合い方
円山川の利水について
人の営みと利用について
円山川の景観について
円山川の自然環境について

太字は左表の欄で示した項目

委員の意見のまとめ（集約フロー）について

1. 水害後の委員の意見のまとめ

「委員の意見のまとめ（集約フロー）」は平成 16 年 10 月台風 23 号による水害前に取りまとめが行われました。円山川流域委員会では、水害の発生後も円山川緊急治水対策等について意見交換が行われています。これらの意見交換では、水害前に作成した「委員の意見のまとめ（集約フロー）」には記載されていない意見もあります。

このため、水害後に行われた意見交換の内容を整理し、「水害後の委員の意見まとめ（集約フロー）」を作成しました。その結果は図-1 のとおりです。

水害後の集約フロー図は、テーマ区分や意見集団などの基本構成は水害前に作成した集約フロー図に準拠しており、各意見集団の中の個別の意見が水害後にどのように変化したかが分かるように作成しています。

水害後の集約フロー図では、水害前にはなかった意見を赤色で着色し、水害前から同様の意見を水色で着色しています。

2. 水害前後での意見の変化

水害後の意見交換では、災害を踏まえた意見や円山川緊急治水対策に対する意見が主であるため、テーマ 1（住民が安全に、安心して暮らせる円山川）に関する意見が多く、ソフト対策に関する意見も多くなっています。

また、円山川緊急治水対策による整備に対する自然環境からの意見も多くなっています。

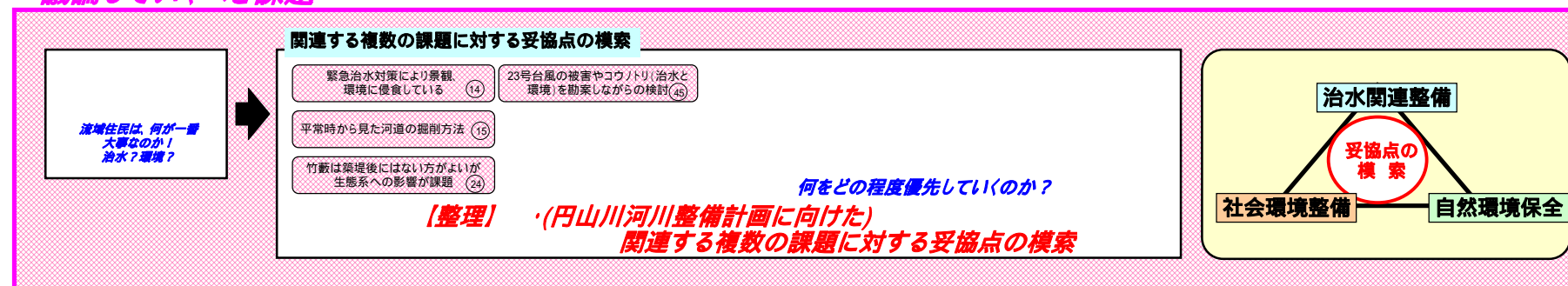
水害前に作成した集約フローを図-2 に示します。また、テーマ毎に水害前後で意見がどのように変化したのかを図-3 に示します。

委員の意見のまとめ
(水害後)
(委員会、課題検討会)

集約フロー



議論していくべき課題



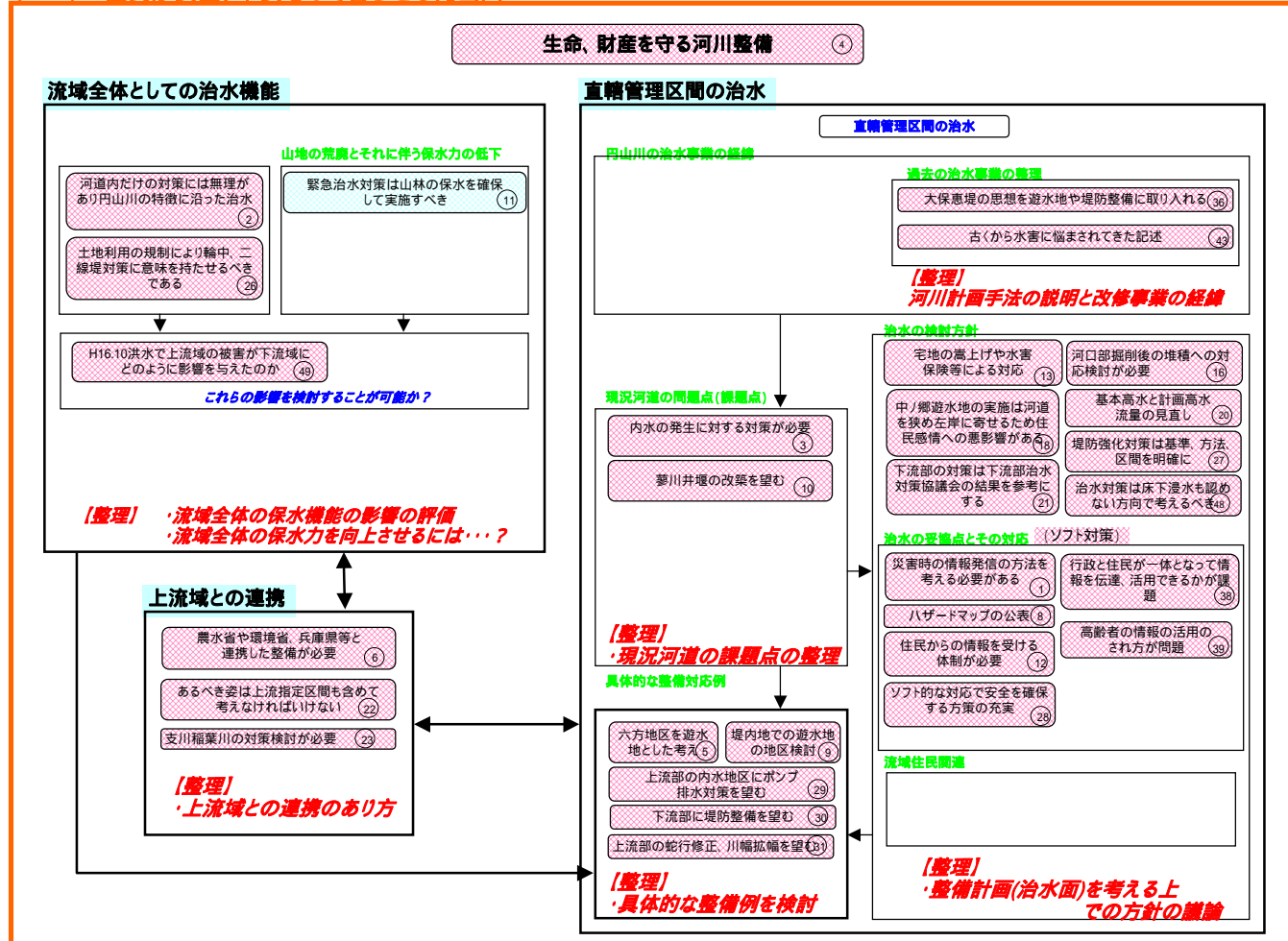
凡例

- 黒字: 委員会等での意見
- 黒字: 集団(意見集団)
- 青字: 補足説明等
- 赤字: 議論、整理していく内容
- 意見の先頭の数字は意見番号

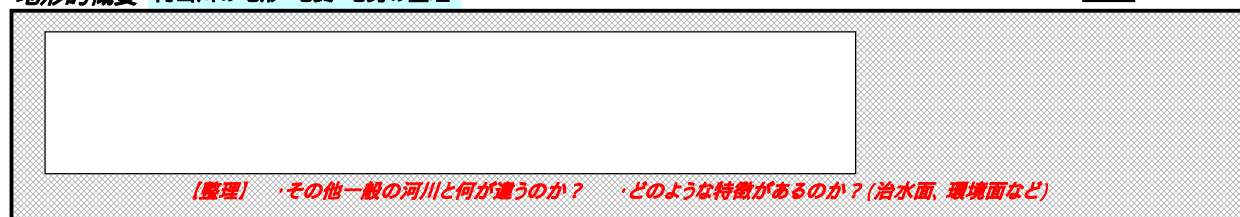
テーマ毎の「円山川のあるべき姿(理想の円山川)」

円山川流域

テーマ1: 住民が安全に、安心して暮らせる円山川



地形的概要 円山川の地形・地質・地勢の整理



テーマ2: 平常時の円山川との付き合い方

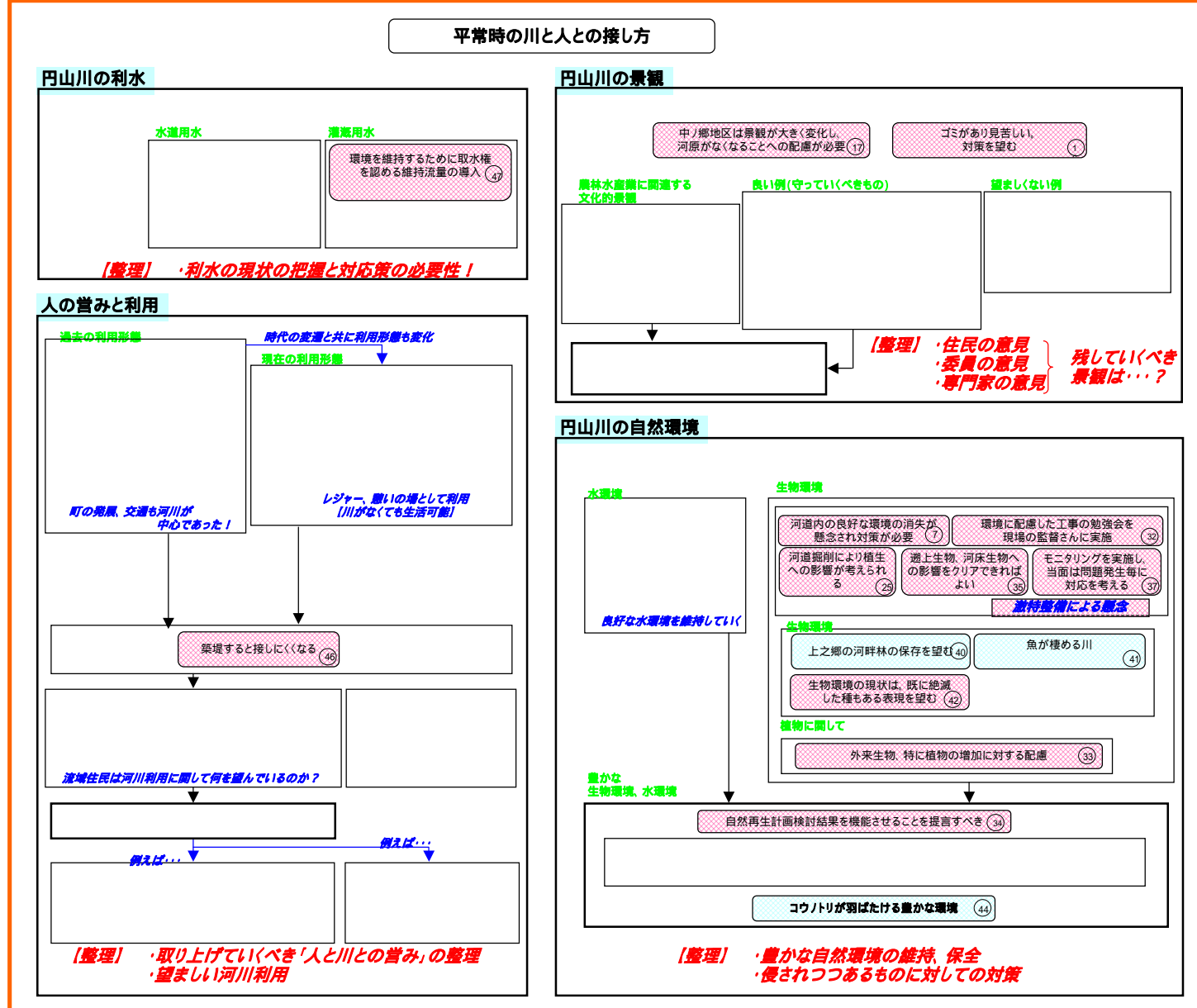


図-1 水害後の委員の意見のまとめ(集約フロー)

委員の意見のまとめ

(委員会、アンケート、ヒアリング)

集約フロー

議論していくべき課題



凡例

黒字: 委員会等での意見
 黒字: 集団(意見集団)
 青字: 補足説明等
 赤字: 議論、整理していく内容
 意見の先頭の数字は意見番号

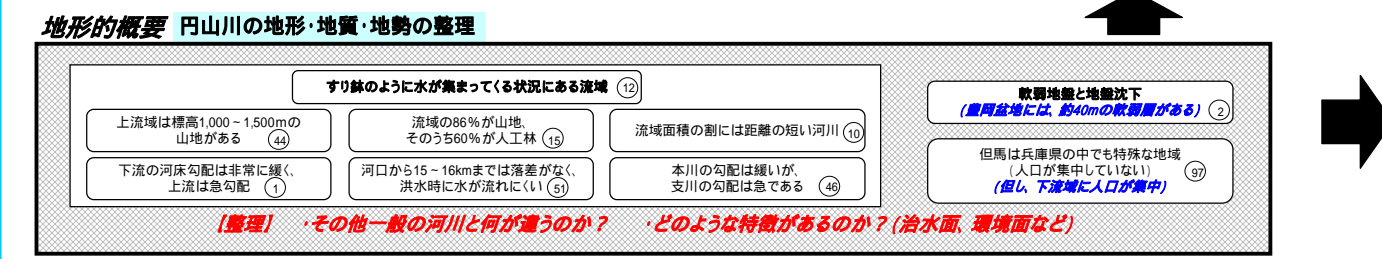
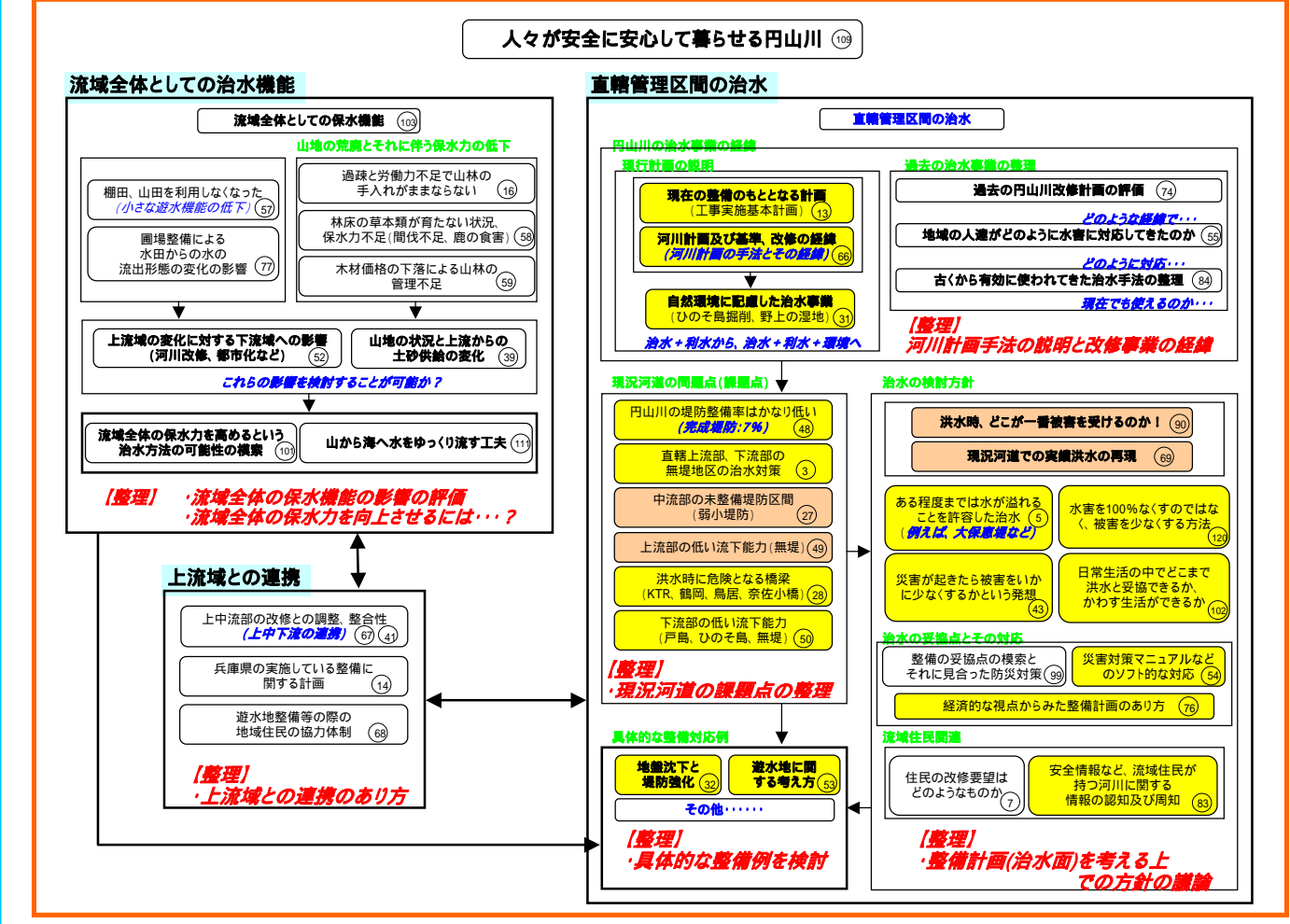
円山川緊急治水対策で解決・解消される課題、整備等事項

円山川緊急治水対策で一部が解決されるが、さらに検討・整備が必要な事項

テーマ毎の「円山川のあるべき姿(理想の円山川)」

円山川流域

テーマ1: 住民が安全に、安心して暮らせる円山川



テーマ2: 平常時の円山川との付き合い方

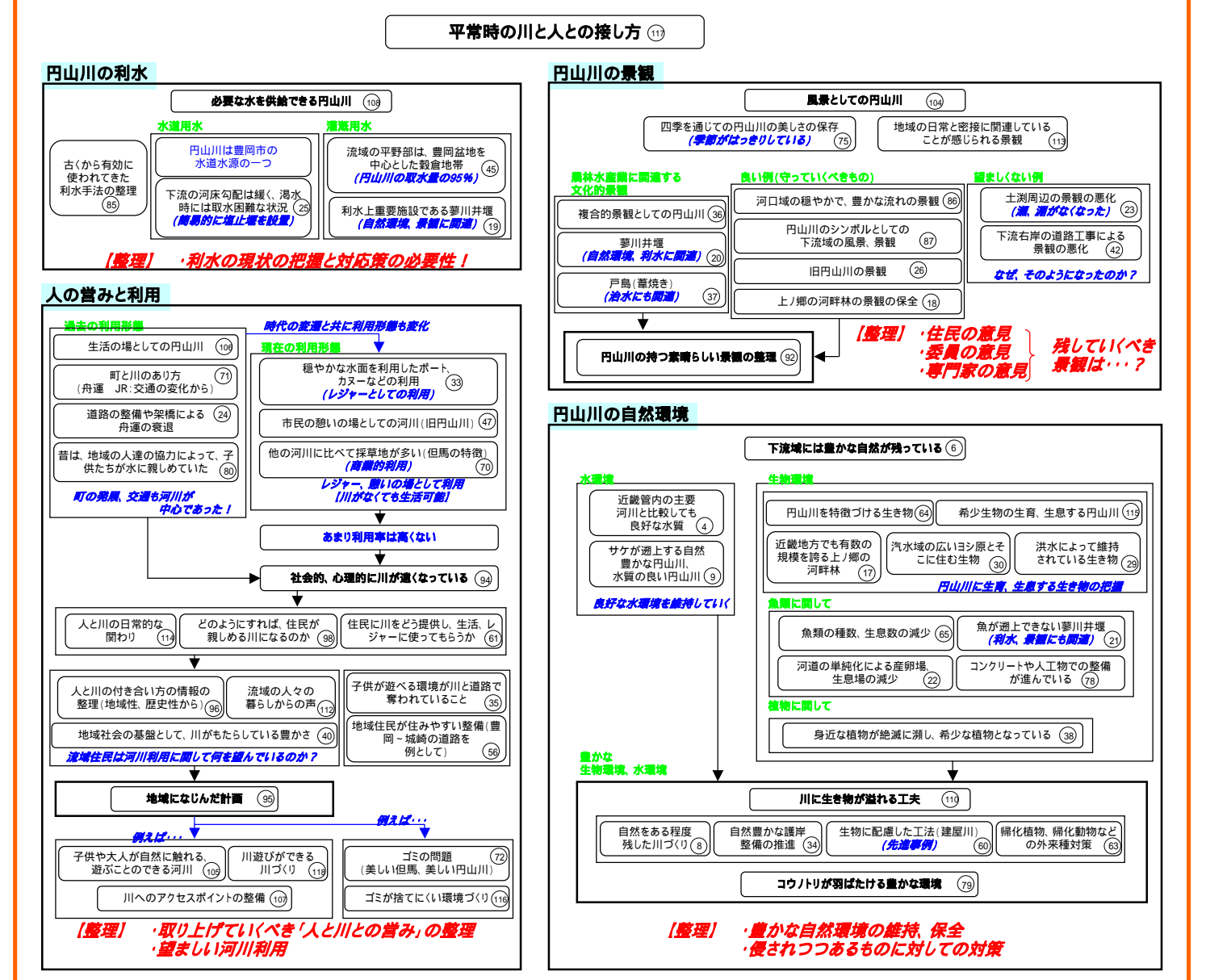


図-2 水害前の委員の意見のまとめ(集約フロー)

委員の意見のまとめの
水害前と水害後の比較
(テーマ1)

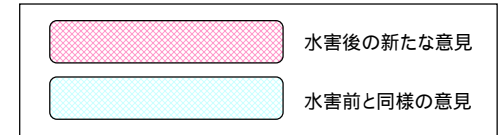
集約フローの一部を抜粋

凡例

- 黒字：委員会等での意見
- 黒字：集団(意見集団)
- 青字：補足説明等
- 赤字：議論、整理していく内容
- 意見の先頭の数字は意見番号

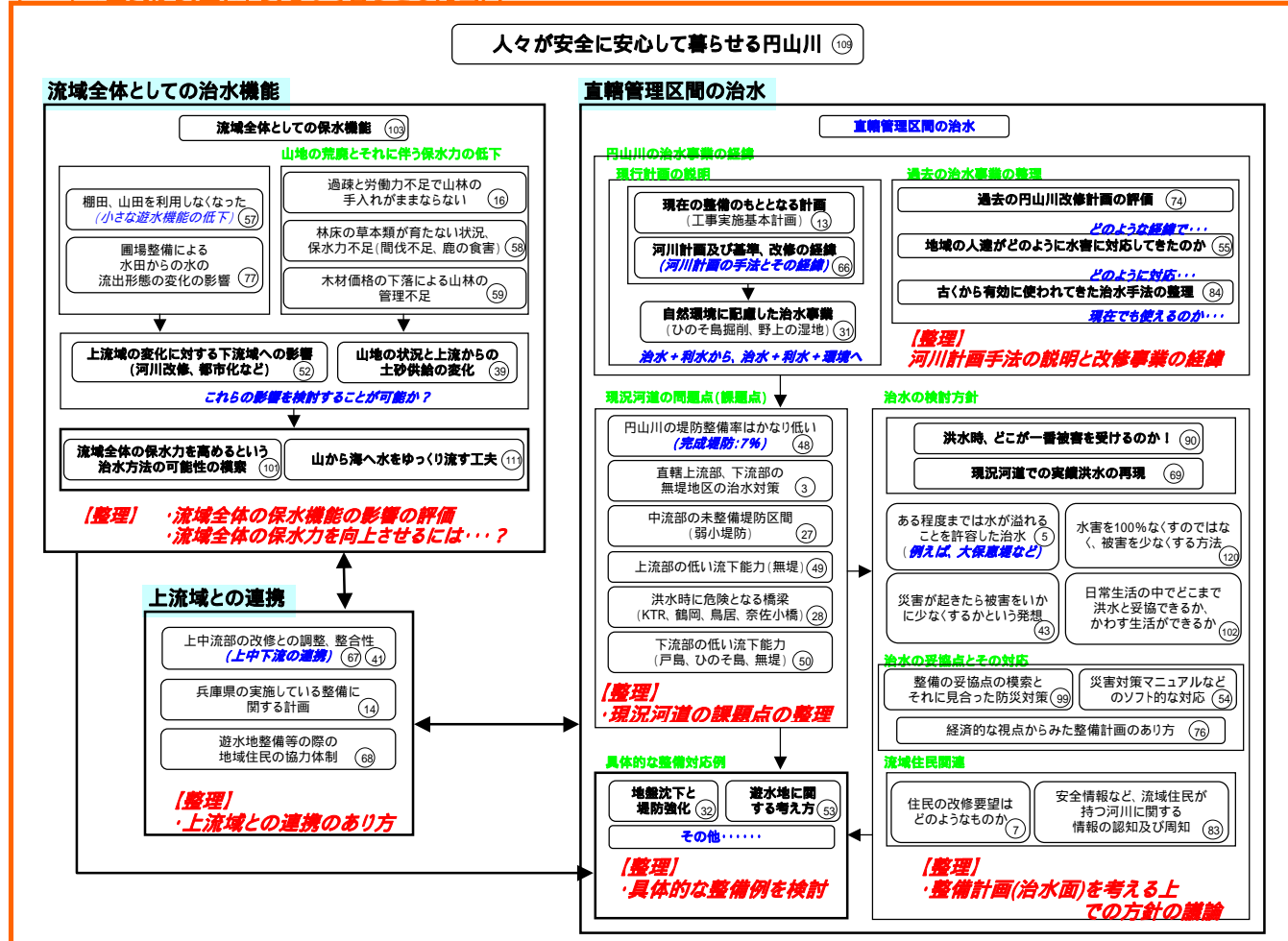
水害前

水害後



円山川流域

テーマ1: 住民が安全に、安心して暮らせる円山川



テーマ1: 住民が安全に、安心して暮らせる円山川

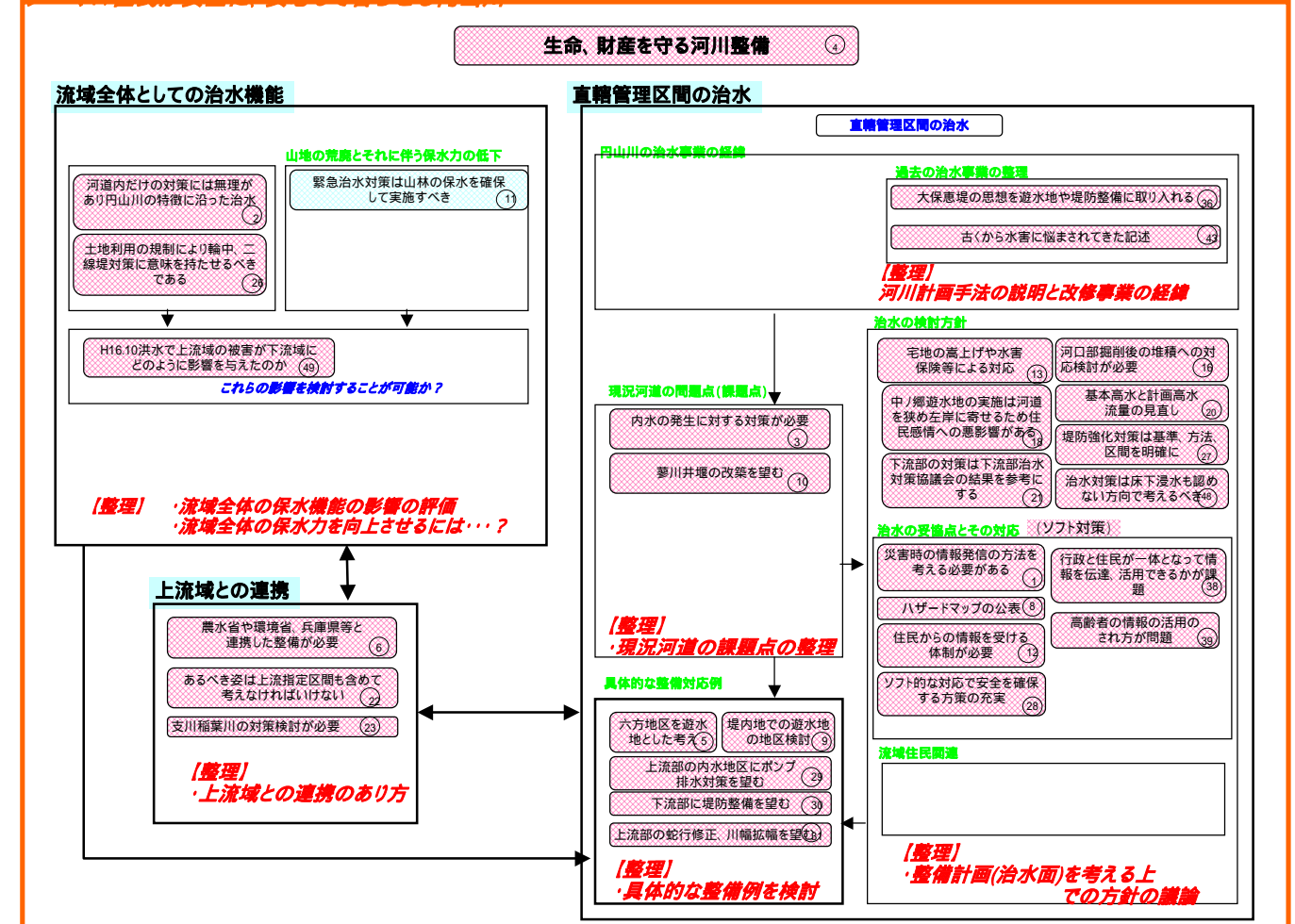


図-3(1) 水害前後の委員の意見の変化(テーマ1)

委員の意見のまとめの
水害前と水害後の比較
(テーマ2)

集約フローの一部を抜粋

凡例

- 黒字: 委員会等での意見
- 黒字: 集団(意見集団)
- 青字: 補足説明等
- 赤字: 議論、整理していく内容
- 意見の先頭の数字は意見番号

水害前

水害後

水害後の新たな意見
水害前と同様の意見

円山川流域

テーマ2: 平常時の円山川との付き合い方

テーマ2: 平常時の円山川との付き合い方

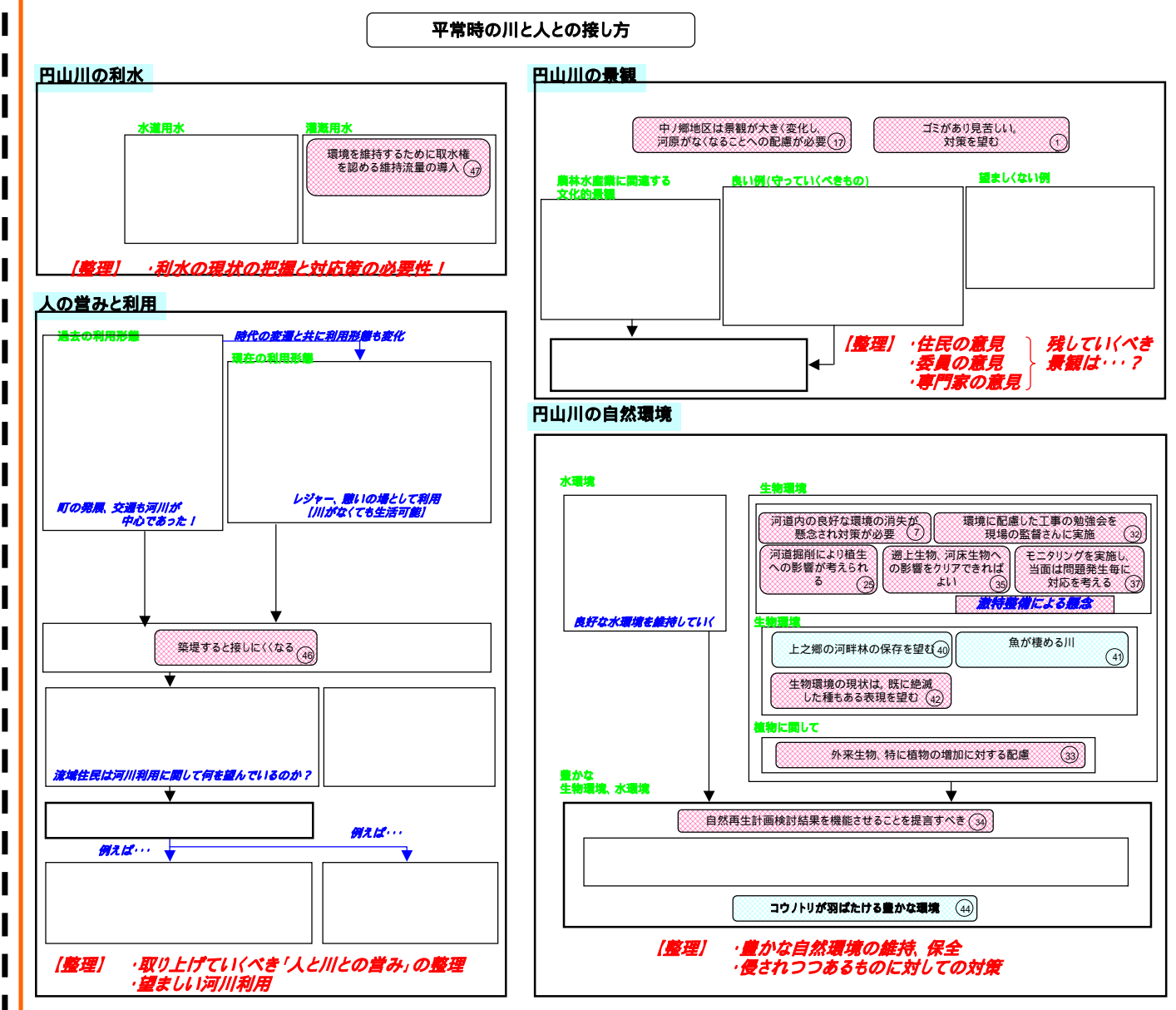
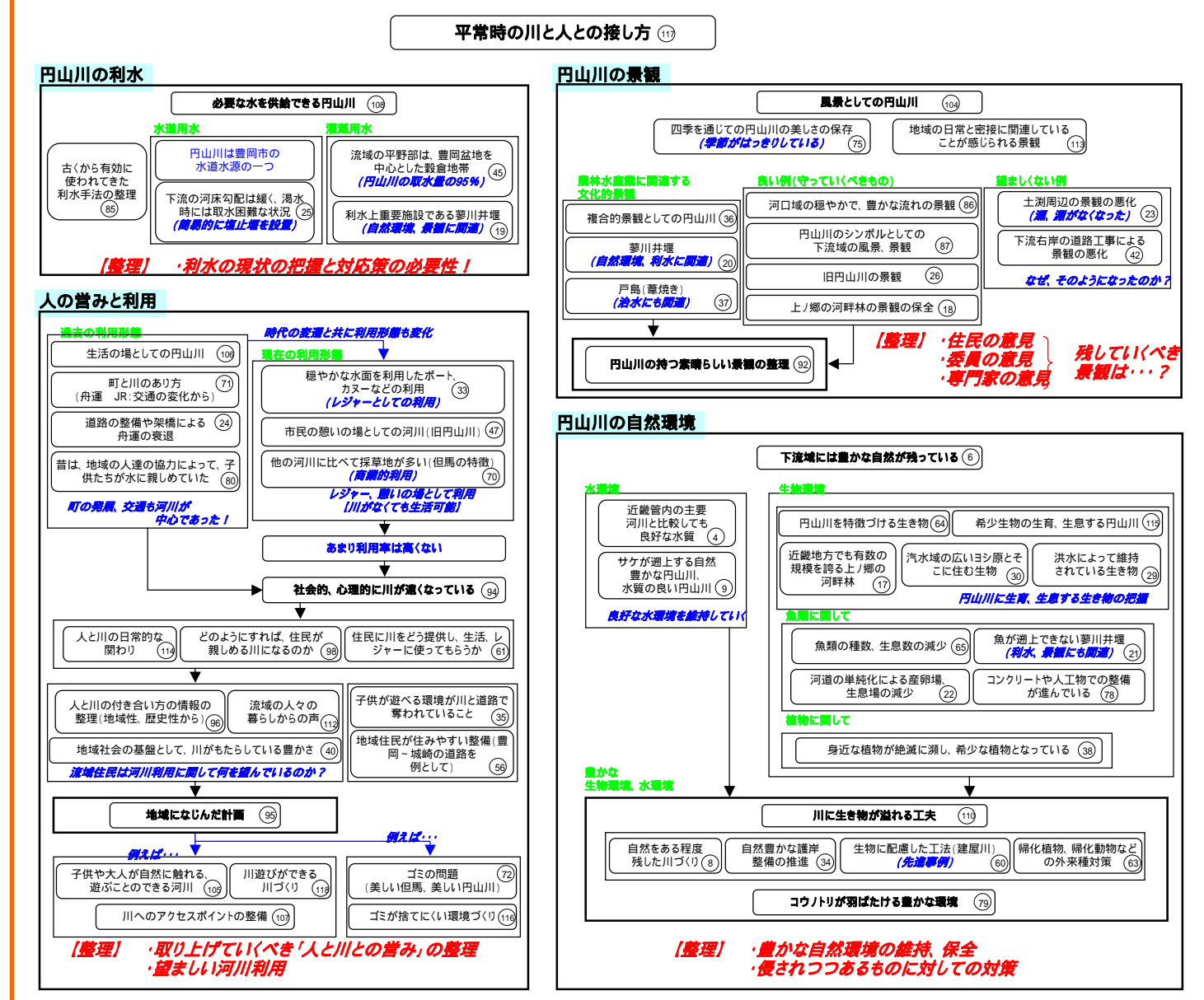


図-3(2) 水害前後の委員の意見の変化(テーマ2)